

令和5年度 芭露学園だより 第8号

令和5年11月25日発行

水芭蕉



本校の教育目標

「自ら学び 夢と希望をもって 進んで行動する子ども」

『ウェルビーイング』 ~ Balance and Harmony ~

みなさん、『ウェルビーイング (well-being) 』という言葉をご存知ですか。well(よい)と being(状態)から成り、1946年の世界保健機関 (WHO) 設立時に初めて打ち出されました。意味は、「**肉体的にも精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態にあること**」をいいます。また、2015年の国連総会で採択されたSDGsの宣言文には、どんな社会にしたいかを述べる段落の中で「**身体的・精神的・社会的にウェルビーイングな社会**」と目指す方向性が盛り込まれたことで、世の中により浸透していきました。今までのように、経済的な豊かさ=幸福とするだけでなく、個人それぞれが考える心の豊かさや幸福を重視する社会が望ましいとの価値観が、世界で広がっています。

ウェルビーイングは人の生き方全体に関わるキーワードですが、教育に関連するそれは、現在、経済協力開発機構 (OECD) が提唱する考え方が世界的に受け入れられています。それは、**教育は何のためにするのか**

というと、「**子どもたち一人ひとりと社会全体が、現在から将来にわたって幸せで満ち足りた状態となるため**」ということです。日本でも、今年6月に閣議決定された“**教育振興基本計画(第4期)**”でこの考えが取り入れられ、上の2

持続可能な社会の 創り手の育成

- 将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる
- 主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

日本社会に根差した ウェルビーイングの向上

- 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上
- 幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的・一体的に育む

つをコンセプトと定め、今後の日本の教育政策全体の方向性や目標、施策が定められました。

人口減少や環境問題等に加え、新型コロナウイルスの流行や各地で起こる紛争等、本当に将来の予測が困難な時代になりました。そんな中、私たち大人がこれまでの教育観を転換させていくことが必要だと考えます。**子どもたちが習得した知識や技能を使って思考をめぐらせ、試行錯誤をし、夢中になって取り組む。やりきった達成感を得て、次のことにチャレンジしていく。そうした活動ができるよう大人は子どもたちを支えていく。**これらの繰り返しがよい循環を生み、「今」のウェルビーイングを高めると同時に、「将来」のウェルビーイングにつながるさまざまな力となっていくと思います。

ウェルビーイングが示すものはとても大きく、目指す状態も人によって様々です。実現への道のりは単純ではありません。だからこそ、すべての人が関わる『教育』の果たす役割と可能性はとても大きいです。学校で、家庭で、1人でも多くの子どもが「**学んでよかった**」「**努力してよかった**」「**自分が学んだことを使った結果、他者を幸せにできた**」と思える経験を積み、日本発の調和と協調に基づくウェルビーイングを実現させていきたいと考えています。

〔湧別町立芭露学園 校長 川上 智広〕

10/21 第6回学校祭

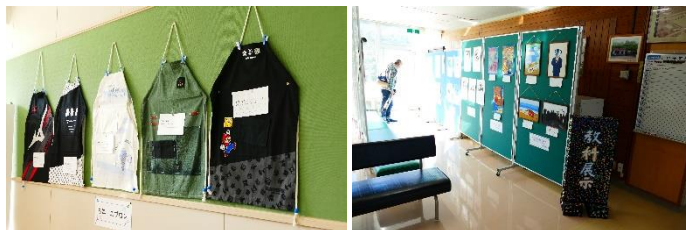
4年ぶりに観客数の制限が無くなった今年度の学校祭は、たくさんの方々に来ていただき、用意した椅子が足りなくなるほどでした。子どもたちは、緊張気味でしたが、今までの練習の成果を十分に発揮して、ステージ上で輝いていました。



ステージ上で輝いていた子どもたちの裏で、彼らを輝かせるために一生懸命に働いていた7～9年生のことを忘れてはいけません。裏方の頑張り無くして学校祭の成功はなかったです。



また、児童生徒の力作を集めた教科展示も学校祭に花を添えました。1年生から9年生までの作品が並ぶと、子どもたちの成長を改めて感じることができました。



多くの方にご覧いただき、舞台上で躍動する子どもたちに大きな拍手をいただきました。「よかったよ。」「がんばったね。」とおほめの言葉もたくさんいただきました。改めてお礼申し上げます。

10/24 SDGs 出前授業

オホーツク総合振興局の環境生活課が主催する SDGs の出前授業があり、1・2年生が「土にかえる粘土」を使った学習を行いました。SDGs は1・2年生には難しい話ですが、粘土で遊ぶのは楽しいようで、子どもたちはカラフルな粘土を混ぜたり組み合わせたりしながら思い思いの形を作って楽しんでいました。



10/25 「職業と私」講演会

この事業は、湧別町中高一貫教育の「STC プログラム」の一環で行われています。今回も多くの職業の方に講師として参加していただき（川上校長先生も講師でした）、8年生の生徒は興味がある職業についてお話を伺ったり質問をしたりしました。普段なかなか聞けないお話を聞き、自分の生き方について考えることができる貴重な体験となりました。



11/1 生徒会役員認証式

令和5年度後期の生徒会役員へ、校長先生より認証状が手渡されました。主な役員は下記の通りです。後期の学校生活がより良くなるように役員のみなさんに頑張ってほしいです。

【令和5年度後期生徒会役員】

生徒会長…久保拓夢さん 生徒副会長…上田陽斗さん

児童会長…上田夕梨さん 児童副会長…伊藤琴音さん

生活保体委員長…竹中友希さん 副委員長…斉藤宥さん

学習文化委員長…上田ひまりさん 副委員長…吉澤諒祐さん



11/8 JA 湧別青年部出前授業

今回は1・2年生が「アグリサポートばろう」を見学させてもらいました。敷地があまりに広いのでバスで移動しながら、牛の飼料が作られていく様子を見学しました。ミキサー車など普段見たことのない機械に子どもたちは興味津々でした。サイレージの匂いに慣れていない子たちはちょっと辛そうでしたが、家が酪農の子はへっちら。「何事も経験することって大事だな」と感じた見学でした。



2月の行事予定



学校ホームページの
QRコードです。
ぜひご利用ください。

日	曜	主な行事予定	部活動
1	金	学力テスト（9年）	
2	土		
3	日		
4	月	全校集会 分掌部会	
5	火	中高一貫教育合同講演会 参観日（1・2年）	
6	水	参観日（3～6年）	
7	木	大掃除① 秋トーク①	
8	金	大掃除② 秋トーク② 特別支援部会 スクールカウンセラー来校	
9	土		
10	日		
11	月	研修日	部活なし
12	火	大掃除③ 秋トーク③ 英検ESG 学校運営協議会	
13	水	大掃除④ クラブ 秋トーク④	
14	木	森林教室（1～6年）	
15	金	わくわく号 委員会 STC9年生発表会	
16	土		
17	日		
18	月	職員会議 定時退勤日	部活なし
19	火		
20	水		
21	木	クリスマス集会	
22	金	冬季休業前集会 学校祭反省会議 定時退勤日	部活なし
23	土	冬季休業（～1/15）	
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金	年末年始の休業日 学校閉庁日	
30	土	年末年始の休業日 学校閉庁日	
31	日	年末年始の休業日 学校閉庁日	